

Takada Chiken Company Newsletter. Title was written by S.Takada.

# SPARK

スパーク



Photo by Raiji Tada



70周年を語る会

Vol.  
**59**  
2024.1



2023年11月10日、いい井戸の日に、寒河江市内にある紀の代さんにて「創業70周年を語る会」を開催しました。

**社長** 本日は株式会社高田地研の基礎を築いていただいた皆さんにお集まりいただきました。創業70周年を一つの節目と捉え、更なる成長と変化し続ける企業として飛躍していくために、皆さんからの貴重なお話をいただきながら、有意義な未来を語る会にしていきたいと思います。まずは、先代から今まで3代にわたり会社発展のためご尽力をいただき心から感謝申し上げます。(金員拍手)

**田中** もつたないお言葉。

**相談役** 飲みながら、食べながら遠慮なく今夜は楽しみましょう。

**上村** 嬉しいねー、70周年ねー。社長になつてから何年経つ?

**田中** 14年くらいですかね。

**上村** 60周年の時には社長でしたからね。

**社長** 本日は株式会社高田地研の基礎を築いていただいた皆さんにお集まりいただきました。創業70周年を一つの節目と捉え、更なる成長と変化し続ける企業として飛躍していくために、皆さんからの貴重なお話をいただきながら、有意義な未来を語る会にしていきたいと思います。まずは、先代から今まで3代にわたり会社発展のためご尽力をいただき心から感謝申し上げます。(金員拍手)

**田中** もつたないお言葉。

**相談役** 飲みながら、食べながら遠慮なく今夜は楽しみましょう。

**上村** 嬉しいねー、70周年ねー。社長になつてから何年経つ?

**田中** 14年くらいですかね。

**上村** 60周年の時には社長でしたからね。

### 「70周年を語る会」開幕



70周年に乾杯!



60周年感謝の集い時の1枚



社長の入社式

**社長** そうなんです。確かに40周年の時に入社したので、早いものですね。60周年では馬頭琴のコンサートやまた社員さんの家族を交えて感謝の集いをしましたね。

**上村** 節目節目で色々なことをしてきましたね。

**相談役** 太鼓叩いたこともあつたね(笑) 20周年かな? 30周年だったかな?

**上村** そうだね: あつたね…。

**TAKADA**

**入社のきっかけ**



**相談役 高田信一**

昭和58年代表取締役へ就任。平成6年に高田地研へ社名を変更し、地質調査業、建設コンサルタント業、土壤汚染状況調査指定機関への登録など多くの事業を拡大させた。平成20年代表取締役会長へ就任。現在も相談役として今なお経営や技術に関する的確なアドバイスや指導を行う。

**社長** ではそろそろ本題に入りましょうか！皆さん入社のきっかけは何でしたか？

**三浦** 正直に言えば、私の同級生が高田地研をよく知る人で、入社後は東京に行けると聞きました（汗）

**相談役** あー国土建設学院ね（※1）

**三浦** そうです。あの頃は東京の学校に行かせていただいて、2年生に杉沼さん、そして私が1年生でした。

**相談役** 当時は、若い人が入社してくれなくて…。人を育てるために2年間給与を払いながら東京の学校に行つてもらつてね、十数人行つてもらつたな。

**社長** 当時にしては画期的な試みですよね。

**上村** そうそう、そこでしつかり勉強してくれれば2年後知識を持つて帰つてきてくれて、会社としてはその経験が活かされた仕事ができ何倍も効果が得られたよね。

**社長** 確かにそうですね。田中さんはいかがですか？

**田中** 私のときは氷河期と言われ就



**工事部顧問 三浦幹夫**

昭和52年入社。  
国土建設学院卒業後、工事部へ配属。當業部の経験を経て現在に至り工事部の第一線で活躍。平成29年に常務取締役へ就任。平成31年以降工事部の技術顧問として若手の指導にあたる。

**田中** 清水さんが秋田大学鉱山学部の出身でしたから、とにかく「大学卒の社員がほしい」と、今でいうリクルート活動をしてくれて、田中さんが念願の初大学卒入社だったよね。

**田中** すみません…期待に沿えず勉強してきませんで…。

**（全員爆笑）**

**相談役** その後ご縁でお嫁さんも寒河江の方ですもんね。

**三浦** 田中さんの奥様のこと、よーーーくわかります（笑）色々な縁がありましてね…。

**社長** そのお話初めて聞きました。

**田中** 当時、相談役には色々なところへ連れて行つてもらいましたねー。相談役も若かったから…野

**田中** だから今の若者は当時の私たちに比べると堅実ですね。相談役他全員、飲みすぎで無茶やつたこといっぱいあるよね。お金なんか飲み代が多くて貯まらなかつたしね（笑）

**（全員うなづく）**

**社長** 上村さんの入社のきっかけは何でしたか？

**上村** 大手ゼネコンに勤めていたんだけど父親が体調を崩したので寒河江に戻つてきたのね。その後1年間測量の勉強をし、土木の知識も活かせるからとお誘いをいただき、先代の面接を受けご縁があつて入社しました。当時28歳だったね。

**上村** これまで45年、色々なことがあつたけど、創業70年を迎えるにあ

**田中** やきとりですか？

**田中** ……スナック……ですね：（申し訳なさそうに）。あの頃は今よりもっと夜の街も賑やかでお店もたくさんありましたよね。

**相談役** そうそう、何かあると飲み会だつたもんね。

**田中** だから今の若者は当時の私たちに比べると堅実ですね。相談役他全員、飲みすぎで無茶やつたこといっぱいあるよね。お金なんか飲み代が多くて貯まらなかつたしね（笑）

**（全員うなづく）**

**相談役** 長い道のり、良いことも苦しかったこともありますけどね。新社屋を建てた時は一番景気が良かつたね。社員旅行でラスベガスやらハワイやら行けたもんね。

**相談役** あつたね：あつたね：（懐かしそうに）

**相談役** 長い道のり、良いことも苦しかったこともありますけどね。新社屋を建てた時は一番景気が良かつたね。社員旅行でラスベガスやらハワイやら行けたもんね。



**技術顧問 上村裕司**

昭和55年入社。  
當業部、工事部を経て調査部において長きにわたり技術の最高責任者として活躍。平成6年に技術士（建設部門）の資格取得。平成20年に専務取締役へ就任。実用新案登録「下水熱利用による融雪工法」など様々な功績を残す。現在も技術顧問として若手の指導にあたる。

**上村** たつて一番の功労者は相談役とテル子取締役じゃないかな。相談役ご夫婦が途中で会社を投げ出さなかつたね。辞めた会社が周りにもたくさんある中で、よくここまで頑張つてくれたよ。たくさん辞めた社員もいて、それぞれに辞めていった理由もあって。警察沙汰も何回かあつたしね…。

**相談役** あつたね：あつたね：（懐かしそうに）

**相談役** 長い道のり、良いことも苦しかつたこともありますけどね。新社屋を建てた時は一番景気が良かつたね。社員旅行でラスベガスやらハワイやら行けたもんね。

**相談役** あつたね：あつたね：（懐かしそうに）

**相談役** 長い道のり、良いことも苦しかつたこともありますけどね。新社屋を建てた時は一番景気が良かつたね。社員旅行でラスベガスやらハワイやら行けたもんね。

**相談役** あつたね：あつたね：（懐かしそうに）

**相談役** 長い道のり、良いことも苦しかつたこともありますけどね。新社屋を建てた時は一番景気が良かつたね。社員旅行でラスベガスやらハワイやら行けたもんね。

**上村** 苦しいと言えば、業績が悪化した時はその都度集まれって役員会を開いて、「何するのや?今までとはダメだべ」って。

**相談役** そうだったね。キノコの栽培やイチゴの水耕栽培をしようとか、水を活かしたもので何かできないかと。関係先を回ったこともあったね。

**上村** 今思えばやらなくて良かったよね(失笑)



海外社員旅行



若き日の三浦

ど。それが当たり前だと思っていて。

**田中** 油圧で一気にボンボンボンつ

て伸びていくようなものを作りた

かったなと思ってて。毎回、ばらし

てまた組み立てて、大変だと。しか

も櫓を作るのが一番危険だと思うよ

ね。櫓を三段階に分けて運ぶことは

できないのかとか、今でももつと良

い方法があるんじゃないかと思って

います。

**三浦** 最初、櫓に上がれって言われた時怖かったよね。崖のそばの現場もあつたし。

**田中** シートをかけるのも怖くて、重くて大変だったよね。何とかもつと楽に安全に組み立てられる櫓ができれば良いんだけどね。

**社長** ほんとですね。では田中さんから見て三浦さんはいかがでした?

**田中** 三浦さんを一目見て「これはモテたよなー」「男から見てもいい男だなー」って思いましたね。飲み屋に行くと三浦さんは女の子たちに囲まれてさ、私たちは早く帰れって言われるのよ(笑)今でもかつこいいべー。

たからね。

**社長** 今はそれを受け継ぎしつかりと原価管理をしていますからね。

**田中** ちょっと厳しすぎるかな——(笑)お酒が入ったから言わせてもらいますが:、仕事を取ると

きの緊張感は尋常ではありません。

お客様のためにはできるだけお安く、でもその金額だと現場は苦労す

るだろうなと。間に挟まれ悩ましい限りです。

## 当時のお互いの印象

**田中** 業務で上村さんからは「実行予算を組む」ことを教えてもらつた。最初は何を言っているのか会社の人は全く分からぬわけよ。それ

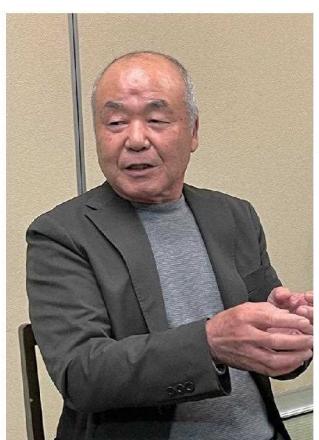
を、実行予算とはから教えてもらつて、例えば、土木工事で、何人で何日かかるのか、材料はいくら位?それをきちんと把握することがとても大事だと。それを把握しないと値段の交渉ができないと。どんぶり勘定ではなく、予算の根拠がないとお客様を納得させられない。衝撃的だったね。「すべてに根拠を持って」と、それは今でも若手に常に伝えていることです。

**社長** それは大手ゼネコン時代に学んだことですか?

**上村** そうですね。「工程管理、安全管理、実行予算」は基本だったのです。

**三浦** その頃は何にも分からず、教えてくれる人もいなかつたからね。上村さんはやっぱり違うなといつも思っていました。

**田中** ほとんど手探りで仕事をしてい



**社長** 大変申し訳ないです。

(全員爆笑)



**三浦** 泊まった宿の食事がナス料理しかでなくて、さすがに飽きてきて宿を変えてほしいってお願いしてね。料理を作ったばあちゃんが隣から離れて残すに残せなくて(汗)田中 真冬の昭和村の現場も寒かつたねー。夜はもちろんお酒を飲んで調子良くなっちゃって早く寝ろーつて怒られたね。色々あります。

**三浦** その頃は一升瓶持つて酒ばっかり飲んでね。

**相談役** お酒がないと仕事ができないってね。

**三浦** ケーシングパイプが入ると日本酒飲んでたっけね。

**田中** 会社に帰つてくるとお茶の茶碗で日本酒を出していたよね。お茶代わりに。

**相談役・三浦** パイプが入ると必ず祝い酒なんだっけね。



## 仕事をしている上で大切にしていること

**三浦** 人との付き合いだけ。自分の言いたいことだけを一方的に伝えるのではなく、押したり引いたりしながら相手との距離感を作る。たくさん失敗を繰り返しながらここまできたかな。そういうお客様とは長いお付き合いをしていただけますね。

**田中** 私は、「お客様の方を向いて話す」ことです。これは経験を積んで感じることがですが。若い頃は私がむしやらに走っていました。自分が組んだ実行予算通りに事が進むよ

うに進めていました。しかし、お客様の意向に沿つて仕事をしないと満足してもらうこととはできないという結果にたどり着いたのです。あと、本当にこのやり方で良いのか。お客様にとっても会社にとって一番良い方法は何なのかと常に考えてベストな提案をできるように心がけています。

**上村** これまで、色々な仕事をしてきただけどね。とにかく皆に言うのは「楽しく仕事をしようよ」ということなんだね。トラブルやお客様から叱りを受けても全ては経験となり、過ぎてみれば勉強になることばかりなので。前を向いて楽しみましょうと自分にも言い聞かせながら若い人にも伝えたいよね。



## 会社に期待すること

**田中** 今後は、安全性や効率性が確かに、若手が簡単に操作できる機械が絶対できると思います。誰にも負けない機械を持つたり技術力を磨いたりすることが他社との差別化を図

**三浦** お客様から社員のことを褒めや3つ持つことも必要ではないか。現在の仕事の受注が減ったときに全く違う業界の仕事をしていればお互いに助けてくれる。何をすることができるのではないかね。何をするかと言えば…なかなか難しい問題だけだね。

**三浦・田中** 今後、新規のお客様の獲得はさらに難しくなると思うので、既存のお客様を大切にしてアフターメンテナンスも当社でしていくだけが頑張っています。すべては財産だと。



## 若手に伝えたいメッセージ

**三浦** 今の社長の経営方針のもと若手の成長を感じますね。それぞれ責任をもつて現場をやりくりしているね。自ら考え行動しているなど現場で感じています。

**田中** 今の若手はとても真面目。分からないことはトコトン聞いて、自分が納得するまで質問攻めにあうこともあるよね。逆に仕事が雑になると教

ることは最重要課題だと思います。

**上村** 今の業態以外にも会社を2つや3つ持つことも必要ではないか。

**田中** 現場がとても綺麗で整理整頓もなっている。プライドを持って仕事をしているのが伝わってくる。

**三浦** やはりそうなったのは部長クラスがきちんと成長を助けているっていうものもあるよね。

**相談役** よくあれだけの現場の数を采配しきりもりしているよね。すごいと思うよ。

**上村** 上席の者が部下を育てるっていうのは、仕事を任せて責任はすべて自分が持つという覚悟が必要だと思う。自分が現場を走っていたのは部下は育たない。育てるって時間とお金がかかるのよ。自分がやった方が早いけど、そこをグッと耐えることができるかだよね。仕事は会社がとるのはなく部長クラスがとるのよ。それを皆さん任せること私もそうやってやつてきたしね。

**社長** そのためにも会社の技術力を



えられることもあるね(失笑)

**三浦** お客様から社員のことを褒められる嬉しくなるね。

**田中** 現場がとても綺麗で整理整頓もなっている。プライドを持って仕事をしているのが伝わってくる。

**三浦** やはりそうなったのは部長クラスがきちんと成長を助けているっていうものもあるよね。

高めて信頼されるような会社を作つてていく必要がありますね。

**田中** 技術士の数はとても大事ですね。

よね。今後仕事を獲得するにも大事な資格になつてくるので、是非、若手には頑張つてもらいたいですね。

あとは、これならどこにも負けないつていうのをお願いしたい。「試験だつたら高田地研に任せたら何でもできますよ」というのをお願いしたいです。会社に付加価値をつけないとなかなか難しくなるかもしれませんね。是非、各々の持つている得意分野を活かしながら技術力を上げていってほしいです。どこにもない機械設備を持ちましょう!

**三浦** ホントだね。お酒の勢いもあって、今日は私たち好み勝手言わせてもらいましたけど(笑)配管の設備とともに自社でできることがあるかもね。若手はできるよ。

**社長** 私は皆さんからのお言葉を具現化する仕事ですから。どう実現させるかが大切ですよね。前向きに考えていくべきです。皆さんからの貴重なお話ありがとうございました。

**全員** 歳を重ね、体も言うことを聞かなくなつてねー。先のことは考えないで迷惑をかけないように今を精一杯生きていくたいね…。

(お孫さんの話や…健康の話題…まだ…続く…)



注釈

※1 國土建設学院は、かつて東京都小平市にあった私立専修学校。2年制学科。平成23年廃止。

※2 当時、高田地研には野球チームがあり、早朝から練習を重ね、社会人野球の試合に参加していた。



## 社長あとがき

### 「創業70周年を語る会」を終えて

先輩方のお話は、何度も聞いても非常にためになると敬服しました。様々な話をしましたが、それぞれ言葉は違えど柔軟な変化と協調性の大切さを書いてくださいました。かつて壁にぶつかり、どうすれば良いのかと自ら考え行動してきた皆さんです。またその高い壁は、昔も今も変わらない。それらを乗り越えていただから今があるのだと改めて感じ、だからこそこの教訓は、次に繋げていかねばならないと強く心に刻みました。

印象的だったのは、昔話をしながら皆さん終始明るく和やかな表情を見せていましたこと。ここへたどり着くまでには、糺余曲折があつたはず。苦難とともにしたからこそその絆が生まれ、こうして懐かしい時間を共有できるのだと、それは本当に素晴らしいことだと、皆さんの笑顔を見てつくづく感じました。

社員の皆さんのが日々汗を流し懸



30年後、私は今の相談役より2歳上の83歳になりますが、「創業100周年を語る会」を開催できることを楽しみに、また人生の目標として、誠実に正しい道を歩んでいきます。

命に働いてくださるおかげで、会社はより良く進化し、今も順調な成長を見せています。心から感謝申し上げます。会社の基盤となる信用と信頼は、創業当時の社長や幹部、先輩の方々が70年間地道に積み重ねてくれたもの。若手の皆さんにも80周年、90周年、100周年を迎えたときに、後輩たちに尊敬され感謝されるような堅実な働きをしてほしいと願っています。そのためには、今を大切に、自分で考えて自分で行動し、自分で決断して前に進んでいくしかありません。ともにより良い成長と変化を追求しながら信用と信頼を積み重ね、歩んでいきましょう。